

令和 7 年度
第 2 回 大野市文化財保護審議会
会 議 録

日 時 令和 7 年 1 2 月 8 日 (月)
会 議 1 0 : 0 0 ~ 1 1 : 5 0
視察研修 1 3 : 5 0 ~ 1 5 : 0 0
場 所 会 議 : 学びの里「めいりん」 2 階 洋室 (大)
視察研修 : 大安禅寺 (福井市田ノ谷町)

大野市文化財保護審議会

出席者 ○委員 6 名（※ 1 名欠席） ○事務局 5 名

会長あいさつ

先般、文化の分野で市政功労者表彰をいただいた。自分が思っていたより周りからお祝いの言葉をかけていただき、その反響の広さを感じた。

今日は多くの事項と後ほど大安禅寺の方へ視察研修も控えているので、事務局には順序良い説明等をお願いします。

協議事項

（１）文化財防火査察等の実施について

- 事務局より資料 1 にて説明。主な協議結果は下記のとおり。

【協議結果】

防火査察、防火訓練ともに資料 1 の内容で事務局に各調整をお願いします。

（２）奥越史料の発刊（令和 8 年度）について

- 事務局より説明。主な協議結果は下記のとおり。

【協議結果】

執筆予定者としては、審議委員 3 名を想定。

【主な質疑応答等】

委 員：1 頁分の文字数は。

事務局：前は 25 文字×22 列×2 段であった。

委 員：前は外部の方の執筆を転載したが、発行元は大野市教育委員会と当審議会が連名であり、記載内容の確認など責任も発生するので、そのような場合、必ずこの審議会での相談をお願いします。

事務局：基本的に執筆内容の確認作業の都合等から、外部や一般の方からの執筆掲載は考えていない。そのようなケースが起きた場合は相談させていただく。

報告事項（※各資料に沿って事務局より報告。その後、不明な点など質疑応答。）

（１）大野市文化財保存活用地域計画の見直し進捗について

【主な質疑応答等】

委 員：未指定文化財の調査や研究を進めていくのが難しく課題である。今後、この計画で具体的に進んでいくということか。

事務局：今回は後期を迎えるにあたっての見直し修正であり、基本理念や方針など柱となる部分での大きな変更点はない。計画自体は令和 4 年に作成され、それ以降、既にその中の基本理念や方針等に沿

って取り組みが進んでいる。具体的な事業の展開については、この方針等に沿って市や文化財所有者、市民がそれぞれの立場で、随時、その取り組みを進めていくこととなっている。

委員：これほどよくまとまっている計画はないと思う。

事務局：当計画の推進協議会では毎年その取り組み進捗について確認しているが、県の担当職員の方にも委員として加わっていただいております、本計画の内容、また、その取り組み進捗についてお褒めの言葉をいただいている。

委員：この計画は文化庁の元での計画という認識でよいか。

事務局：この計画は文化財保護法が基となって文化庁の確認や認定を経ている計画であり、そのとおりである。

（２）令和７年度 これまでの主な取り組み進捗について

●神像、仏像調査について

【主な質疑応答等】

委員：物としては神像より仏像が多いか。

事務局：仏像の姿のことが多い。ただし、神社に祀られているものは、神の本来の姿である仏、本地仏として祀られたものだと思われる

委員：やはり十一面観音像が多いか。

事務局：多いという感想である。坐像の十一面観音像が多く確認されており、白山信仰とのつながりを感じられる。

委員：建物は新しいものが多いか。

事務局：多い。合祀が進み、建物を再建したところも多いが、神像仏像はよく残っている方だと思う。

●県指定天然記念物「白山神社のカツラ」環境整備事業について

【主な質疑応答等】

委員：事業費としては当初は 60 万円を予定していたのが、実際には 80 万円ほどかかり、増額になった部分は下打波区が負担したということによいか。地元負担というが、実際に地元には何人ほどいるのか。

事務局：おっしゃるとおり増額分は地元負担となっている。当初の見込みより物価高騰などの影響により増額となった。11 本の木の伐採を行ったが、クレーン車での作業や運搬のほかに実際人が木に登っての作業も行っており、誰でもできるものではどんどんなくなっている。なお、地元は実際に現地にはもう誰も住んでいないが、団体としては 20～30 人のメンバーがいるようである。

●化石の取り組みについて

【主な質疑応答等】

委員：多くのことに取り組んでいる。この調子で頑張ってもらいたい。

●主な企画展等について

【主な質疑応答等】

特になし

その他

委員：2点教えてほしい。現在の越前大野城であるが、これは58年前に一人の方の4,420万円の寄付によって建ったものと聞いたが間違いないか。また、越前大野城を亀山城とも呼んでいるがこれについてはどうか。

委員：昭和42、43年に萩原貞さんの寄付によって再建された。

委員：50年以上も前、私財をなげうっての寄付によって再建された。個人の顕彰を分かりやすい所ではっきりとすべきである。

委員：当時の金額で4,420万円であり、現在でいうと相当の金額であったと思われる。亀山城については通称である。

事務局：萩原貞さんの寄付により再建され、市や他の市民の方からの支出はなかったと認識している。この間別件でご家族の方とお話することがあったが、我々は「はぎわら てい」と呼んでいたが、ご家族の方は「はぎわら さだ」と呼んでいたようである。「てい」については敬意をこめての呼び方と思われる。また、天守だけでなく土井利忠公の銅像も萩原氏の寄付によるものであり、他にも善導寺にある法然像も萩原氏によるものである。亀山城については、江戸時代から城には別称がつけられることは珍しくなかった。

委員：福井県の絶滅危惧種で和泉地区で確認されているクロシジミ（蝶）であるが、これまで県の方で、指定しただけでは保護の面で逆効果になるため棚上げされていたが、県の自然保護センターの方が来て話があった。和泉村時代はその保護に関する条例があったが、現在、大野市では明文化しているものはない。アラレガコ生息地の地域指定のような形かと思われるが、また、県からの条例案などの話があったらこの審議会にも相談させてもらいたいと思うのでよろしく願います。

昼食後、場所移動し視察研修【大安禅寺（福井市田ノ谷町）[令和の大修理]】

（事務局随行：2名）

【視察研修の様子】

- ・公益財団法人 文化財建造物保存技術協会 事業部 重要文化財 大安寺 設計監理事務所長 伊藤 誠 氏より解説を受けながら視察。

大野市文化財保護審議会

令和7年12月8日（月）午前10時～

学びの里「めいりん」 2階 洋室（大）

1 会長あいさつ

2 協議事項

（1）文化財防火査察等の実施について … 資料1

（2）奥越史料の発刊（令和8年度）について

- ・令和8年度で印刷製本費の予算要求中（執筆については令和8年度の最初の審議会で協議予定）

前回（第37号）：令和6年3月25日発行 約90頁

執筆 国京克己 氏、黒田宗雲 氏、故松原信之 氏、高津琴博 氏

3 報告事項

（1）大野市文化財保存活用地域計画の見直し進捗について … 資料2

（2）令和7年度 これまでの主な取り組み進捗について

- ・神像、仏像調査について … 資料3-1

〔※防犯等の問題上、HP公開時、資料は非公開〕

- ・県指定天然記念物「白山神社のカツラ」環境整備事業について … 資料3-2

- ・化石の取り組みについて … 資料3-3

- ・主な企画展等について … 資料3-4

4 その他

● 昼食後、視察研修

- ・大安禅寺（福井市田ノ谷町）〔令和の大修理〕

文化財防火査察の実施について

- ・毎年 1 月 26 日が文化財防火デーのため、その周辺で日程を調整（査察、訓練の受け入れ先および消防本部の都合を優先するため、後日通知で開催日をお知らせします。）

〔査察先候補〕 下記候補先から 2 箇所程度

種別	名称	所有者等	前回査察年
【書跡】	短冊手鑑	野尻了子 氏	平成 26 年度
【彫刻】	釈迦如来坐像	曹源寺	平成 24 年度
【古文書】	金森長近寄進状	専福寺	平成 25 年度
【古文書】	松平直久掟書	専福寺	平成 25 年度
【古文書】	走り川漁業権文書	勝矢文一 氏	平成 20 年度
【彫刻】	木造 子安観音坐像	春日神社（深井）	平成 26 年度
【彫刻】	春日神社本尊像	春日神社（深井）	平成 26 年度
【彫刻】	木造 釈迦如来仏頭	荒島神社	平成 23 年度
【彫刻】	木像 地藏菩薩半跏像	洪泉寺	平成 22 年度
【絵画】	方便法身尊像（阿弥陀如来像）	雲乗寺	平成 25 年度

※文化財防火訓練の実施について

- ・上記と同時期開催で日程を調整し、案内を送付させていただきます。

〔実施候補〕

本願清水イトヨの里（R5、6 年度も実施）、歴史博物館などを候補に調整を進めます。

大野市文化財保存活用地域計画の見直し進捗について

【これまでの主な経過と今後のスケジュール】

6月 6日	前期計画期間総括（案）の関係各課照会（6/16㍻）
6月27日	第1回 大野市文化財保存活用地域計画推進協議会 ・計画見直しとそのスケジュールについての説明及び見直しのやり方の協議 → 方針、事業措置部分（第4章第3、4節、第5章第3節）は協議会会議にて協議 上記以外（事実関係に基づく部分）は各委員に添削依頼し修正案に反映 ・前期計画期間総括（案）への意見徴集 → 特に修正点なし
7月24日	計画の事実関係部分の修正案 関係各課照会（8/12㍻）
8月13日	計画の方針、事業措置部分の修正案 関係各課照会（8/28㍻）
8月22日	計画の事実関係部分の修正案 協議会委員添削依頼（9/18㍻） → 各委員から約70箇所の指摘事項あり。
9月 5日	計画の方針、事業措置部分の修正案 関係各課最終確認（9/16㍻）
9月29日	第2回 大野市文化財保存活用地域計画推進協議会 ・方針、事業措置部分の修正案協議 → 大きな変更点なし（文章、文法的修正のみ）
10月15日	部局長等連絡調整会議において修正案概要を説明
11月 5日	各指摘事項を反映させた修正案について推進協議会会長に内容確認
11月17日	教育長への説明
11月25日	部長会議での説明、協議
↓	〔以下は今後の予定（※状況によって変更になります。）〕
12月	市長への説明
12月23日	教育委員会定例会での審議
1月	第3回大野市文化財保存活用地域計画推進協議会 ・計画修正案の最終確認
1月	庁内決裁
1月20日頃	市議会全員協議会 ・前期計画期間総括及び計画の変更報告
2月 9日	教育委員会定例会での経過報告
3月	報告・広報 ・県・国へ変更報告（※軽微な変更については報告のみ） ・市ホームページに前期計画総括と計画の変更概要版を掲載 ・計画配布先へ計画変更概要版を送付

◆現時点での修正案における修正箇所の概要については別紙「大野市文化財保存価値用地域計画 修正箇所の概要」のとおり

大野市文化財保存活用地域計画推進協議会 委員名簿

番号	分類		所属	所属役職	氏名
1	1号	学識経験者	大野市文化財保護審議会	委員	タカシマ タケシ 高嶋 猛
2	2号	文化財保存活用団体	神子踊り保存会	会長	ハバグチ リュウイチ 幅口 隆一
3	3号	文化財所有者	善導寺	住職	ダイヤモンド テツジ 大門 哲爾
4	4号	関係機関又は関係団体の推薦を受けた者	大野地球科学研究会	会長	カワダ ノブユキ 川田 信行
5	4号	関係機関又は関係団体の推薦を受けた者	大野商工会議所	課長補佐	タカダ タツヨシ 高田 龍佳
6	4号	関係機関又は関係団体の推薦を受けた者	一般財団法人越前おおの観光ビューロー 観光ボランティアガイド大野	会長	タナカ シンジ 田中 真次
7	4号	関係機関又は関係団体の推薦を受けた者	大野市文化協会	副会長	マツタ ノリコ 松田 典子
8	4号	関係機関又は関係団体の推薦を受けた者	福井県教育庁生涯学習・文化財課	参事	ヤマモト コウイチ 山本 孝一
9	5号	市職員	地域経済部 観光交流課	企画主査	ドウチン イクオ 道鎮 郁生
10			地域経済部 産業政策課	課長補佐	ミズカミ マサル 水上 勝
11			地域経済部 農業林業振興課	企画主査	マツモト シゲハル 松本 成玄
12			地域づくり部 地域文化課	課長補佐	オモテ サナエ 表 早苗
13			くらし環境部 環境・水循環課	企画主査	カエリヤマ タカユキ 帰山 隆幸
14	6号	教育委員会事務局職員	教育委員会事務局 教育総務課	指導主事	マツヤマ ナミエ 松山 奈美江

番号	所属	役職	氏名
1	教育委員会事務局 生涯学習・文化財保護課	課長	佐々木 伸治
2	教育委員会事務局 生涯学習・文化財保護課	課長補佐	寺本 和弘
3	教育委員会事務局 生涯学習・文化財保護課	指導学芸員	田中 孝志
4	教育委員会事務局 生涯学習・文化財保護課	主任学芸員	酒井 佑輔
5	教育委員会事務局 生涯学習・文化財保護課	学芸員	不二山 あかり

【大野市文化財保存活用地域計画修正案 修正箇所の概要】

◆計画構成（章立て） ⇒ 変更なし（下記のとおり）

第1章 文化財保存活用地域計画作成の目的と位置付け

第1節 文化財保存活用地域計画作成の背景と目的 ほか全5節

第2章 大野市の歴史文化の総合的把握

第1節 自然環境 ほか全4節

第3章 大野市の歴史文化の特徴と概要

第1節 文化財の概要 ほか全2節

第4章 基本理念・方針・措置

第1節 基本理念

第2節 調査研究・保存・活用の現状と課題

第3節 調査研究・保存・活用の方針

第4節 調査研究・保存・活用の措置

第5節 文化財の防災・防犯

第5章 関連文化財群の設定と措置

第1節 関連文化財群の設定

第2節 関連文化財群のストーリーと構成文化財

第3節 関連文化財群の保存・活用に関する措置

第6章 推進体制

第1節 庁内の運営体制 ほか全2節

資料編 全20項目

【計画の中心となる部分】

⇒ 第4章、第5章

◆その中でも

- ・基本理念
- ・現状と課題
- ・方針
- ・措置（事業）

にあたる部分が左の赤網掛け部分
など

◆計画の基本理念や各方針、それに基づく措置（事業）に関する部分の修正

①基本理念（第4章第1節） ⇒ 変更なし

- 全体の計画期間（R4～12年度）の中においての後期に向けての見直し修正であり、下記理由で変更なし
 - ・現基本理念で支障は起こっておらず、それに基づいて進められたほぼすべての措置（事業）で、前期総括において「順調」「概ね順調」に推進されている。
 - ・全体の計画期間を通して統一性をもった理念で計画を推進していく必要がある。

②調査研究・保存・活用の現状と課題、方針（第4章第2節及び第3節）

⇒ 「方針の設定」において、現状の8つの方針の設定については変更なし

主な修正点

- ・「現状と課題」における民俗資料館と越前大野城の記載において「耐震」について追記（59頁）
- ・方針④⑥⑧での「結の故郷ふるさと芸能発表会」の記載削除及び修正（62頁、63頁、64頁）
- ・方針⑦での「越前おおのブランド」の記載修正（63頁）

※方針④ 児童・生徒の郷土愛と文化財愛護意識の醸成 方針⑥ 無形民俗文化財の保護の推進

方針⑦ 観光と地域づくりに活用するための関係機関との調整、新たな取り組みの検討

方針⑧ 文化財保存・継承の担い手確保のための取り組みの検討

③調査研究・保存・活用の措置（第4章第4節）

⇒ 措置一覧の「事業期間（年度）」欄において後期の各年度凡例（◎○）を新規設定

※◎期間内で重点的に取り組みを行う年度・期間がある場合 ○期間内で取り組みを行う年度・期間がある場合

措置一覧の事業概要、事業内容等の主な修正点

- ・方針③No.9 市指定文化財「大野市民俗資料館」の管理（67 頁）
… 「適正な管理」については、適切な保存修理等も必要であり含まれるという点から「（保存・修理を含む）」という記述の追記
- ・方針④No.21 児童生徒による文化財情報の発信活動の実施（67 頁）
… 「CM コンテスト」（県事業）終了に伴い、情報発信の記載を修正
- ・方針⑦No.31 地域資源のブランド化の推進（69 頁）
… 産業政策課において進めている現状の事業取組にあわせて文言を修正

措置一覧の各年度の凡例設定での主な特記点（※前期と後期で凡例が異なるもの）

- ・方針①No.1 「文化財カルテ」の作成（66 頁） 前期◎ → 後期○
… 前期でカルテの様式づくりの作業を完了し、後期はその様式への記録継続が主となるため
- ・方針④No.21 児童生徒による文化財情報の発信活動の実施（67 頁） 前期◎ → 後期○
… 「CM コンテスト」（県事業）という具体的な事業が終了したため
- ・方針⑤No.24 博物館資料の展示品の解説の充実と体験機会の創出の実施（68 頁） 前期◎ → 後期○
… 前期で民俗資料館の展示のテーマ分けや展示解説のリニューアルなどを終えたため
- ・方針⑦No.29 登録有形文化財の観光活用（69 頁） 前期◎ → 後期○
… 前期では、施設の適切な維持管理のほかに、活用の面で越前おおの観光ビューロー事務所の平成大野屋洋館への移転があったが、後期は施設の適切な維持管理の継続が主となるため

④関連文化財群の保存・活用に関する措置（第4章第5節）

⇒ 措置一覧の「事業期間（年度）」欄において後期の各年度凡例（◎○）を新規設定

※◎期間内で重点的に取り組みを行う年度・期間がある場合 ○期間内で取り組みを行う年度・期間がある場合

各関連文化財群における<課題・方針>の主な修正点

- ・関連文化財群<6>での仏像・神像調査の結果の周知に対する取り組みについて記載修正（125 頁）
- ・関連文化財群<8>での民俗資料の調査について、対象が既に途絶えてしまってからでは調査が困難になることから、過疎化が進んでいる状況の対象についても調査実施について記載を追加（126 頁）
- ・関連文化財群<8>での暮らしに関する資料の展示について、場所を民俗資料館に限定しないよう記載修正（126 頁）
- ・関連文化財群<9>での食に関連した道具などの展示について、場所を民俗資料館に限定しないよう記載修正（127 頁）
- ・関連文化財群<11>での「本願清水イトヨ生息地」の環境維持について、また、その保護活動や情報発信についての記載修正（128 頁）
- ・関連文化財群<11>での星空保護区認定取得に伴う記載修正（128 頁）
※関連文化財群<6> 地域に息づく多様な信仰形態 関連文化財群<8> 自然の恵みと暮らし
関連文化財群<9> 食の営み 関連文化財群<11> 山と盆地の豊かな自然環境

措置一覧の事業概要、事業内容等の主な修正点

- ・関連文化財群<2>No.3 まちなかのにぎわい創出への支援（122 頁）
… 産業振興の施策の展開において「まちなか」というくくりを使用して、その施策の展開をしているため記載を修正
- ・関連文化財<6>No.2 仏像・神像調査結果の周知（125 頁）
… 仏像・神像調査の結果の周知（公開）に向けて、調査を進める中で分かった解決すべき課題への取り組みについて記載を修正
- ・関連文化財<8>No.2 暮らしに関する資料の展示（126 頁）
… 場所を民俗資料館に限定しない（「など」の追記）よう記載を修正

- ・関連文化財＜8＞No.3 民俗資料の調査の実施（126 頁）
 - … 過疎化が進んでいる状況の対象についての調査実施について記載を追加
- ・関連文化財＜9＞No.1 食に関連した道具などの展示（127 頁）
 - … 場所を民俗資料館に限定しない（「など」の追記）よう記載を修正
- ・関連文化財＜11＞No.1 国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の環境維持（129 頁）
 - … 前期で環境整備（堆積土砂やヘドロの撤去、護岸の補強工事、学習施設の展示リニューアル）が完了し、後期はそれらの環境を維持していくことが主となることから事業名および事業内容の記載を修正

措置一覧の各年度の凡例設定での主な特記点（※前期と後期で凡例が異なるもの）

- ・関連文化財群＜1＞No.1 遺跡や出土遺物の調査の実施（121 頁） 前期○ → 後期○
 - … 前期では市の大手門広場整備に伴う試掘調査があったが、後期は具体的な案件がないため
- ・関連文化財群＜2＞No.3 まちなかのにぎわい創出への支援（122 頁） 前期○ → 令和8～10年度◎
 - … 具体的には未確定だが、産業政策課にてまちなかの活性化につなげる新たな施策の取り組みを令和8年度からの3年を予定として進めていくため
- ・関連文化財群＜3＞No.3 博物館施設における資料の収集・保管（幕末資料） 前期◎ → 後期○
 及び関連文化財群＜3＞No.4 博物館資料の展示品の解説（藩政改革） 前期◎ → 後期○
 - … 具体的には、現状の展示を適切に継続し公開していくことが主となるため
- ・関連文化財群＜4＞No.1 城郭に関する調査の実施 前期◎ → 後期○
 - … 前期では金森長近公生誕 500 年を機とした各事業実施があったが、後期については、それらの事業や準備のための調査などでできたつながりを生かして、必要に応じた交流や調査を行っていくため
- ・関連文化財群＜4＞No.3 城郭に関する調査結果の周知 前期○ → 後期◎
 - … 調査については前期に引き続いて行っていくが、後期はそれらの調査結果等を情報発信していくという点に取り組んでいくため
- ・関連文化財群＜6＞No.2 仏像・神像調査結果の周知 前期○ → 後期◎
 - … 後期は調査結果周知（公開）のための解決すべき課題に取り組んでいくため
- ・関連文化財群＜8＞No.2 暮らしに関する資料の展示 前期◎ → 後期○
 - … 前期で民俗資料館の展示のテーマ分けや展示解説のリニューアルなどを終え、後期はそれらの展示を適切に継続していくこととなるため
- ・関連文化財群＜9＞No.3 伝統食の調査の実施 前期◎ → 後期○
 - … 前期では「半夏生さばの食文化」の 100 年フード認定などがあったが、後期は現状では具体的な案件はなく、適宜、調査を実施していくこととなるため
- ・関連文化財群＜10＞No.1 化石の情報発信拠点の整備 前期◎ → 後期○
 - … 前期で和泉郷土資料館のリニューアル整備（「ガ・オーノ」）が完了し、後期は同施設を情報発信の拠点として適切に維持管理を続けていくことが主となるため
- ・関連文化財群＜11＞No.1 国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の環境維持 前期◎ → 後期○
 - … 前期で環境整備の工事やリニューアルは終了しており、後期はそれらの環境維持を行っていくことが主となるため
- ・関連文化財群＜11＞No.4 星空保護区の認定に向けた取り組み 前期◎ → ー
 - … 星空保護区については前期で認定を取得しているため、当項目は凡例設定なし（ー）
- ・関連文化財群＜11＞No.5 日本一の星空情報の発信 前期◎ → 後期○
 - … 前期は認定時に向けて多様な事業展開がされ認定取得となったが、後期からは継続した観光資源としての活用の取り組みが主となるため

◆その他の修正

⇒ **事実関係の追記、更新、修正 など（※分類分けした主な修正点は下記のとおり）**

①計画策定時（令和4年2月）からこれまでの間で進捗や状況などの変化があったものの修正

〔主な修正点〕

- ・指定文化財の更新〔第1章、第2章、第3章、第4章、資料編〕
 - 新たな指定2件追加（県指定1件、市指定1件）、各文化財の所在地や管理者の変更などによる更新
- ・「おおの遺産」の更新〔第1章、第3章、第6章〕
 - 新たに9件追加
- ・上位計画（大野市総合計画）及び関連計画の改訂歴や概要の修正〔第1章〕
- ・「SDGs 未来都市」選定の記載追加〔第1章〕
- ・当地域計画見直しの組織や方法について、地域計画推進協議会の記載追加〔第1章、資料編〕
- ・「降水量・平均気温」の更新〔第2章〕
- ・化石の発見（および発表）などの記載の更新〔第2章、第3章、資料編〕
- ・北陸新幹線やハピラインふくい（JR 越美北線の接続）などの記載更新〔第2章〕
- ・中部縦貫自動車道の記載更新〔第2章〕
- ・新庄区の地区変更（小山地区→大野地区）に伴う新庄遺跡等の記載変更〔第2章、第3章〕
- ・R2年国勢調査等の結果によった「産業別就業者の構成」などの記載更新〔第2章〕
- ・「将来推計人口」の更新〔第2章〕
- ・半夏生さばの「100年フード」認定の記載追加〔第3章〕
- ・未指定文化への「神像・仏像調査」（R4年度～）の調査結果の追加〔第3章、資料編〕
- ・「星空保護区」認定に関する記載更新〔第3章、資料編〕
- ・古文書関係の記載の一部修正及び更新〔第3章〕
- ・「地方創生推進交付金」の記載修正〔第4章〕
- ・「地区別火災件数」「犯罪情勢（確定値）」の更新〔第4章〕
- ・専福寺の大ケヤキ再生事業の記載追加〔第5章〕
- ・文化財行政組織の構成人数等の更新〔第6章〕
- ・指定文化財保存・継承団体2団体の活動休止の追記〔第6章〕
- ・大野市文化財保護委員名簿の追加更新〔資料編〕
- ・「過去の主な風水害」「過去の主な雪害」の更新〔資料編〕
- ・各博物館での実施企画展等の追記〔資料編〕

②文章上及び図表等の分かりやすさ、見やすさの点での修正

〔主な修正点〕

- ・振り仮名のルールの設定（同頁で振り仮名を振るのは最初の一回のみ）による修正〔全編〕
- ・図、表のキャプション(タイトル)位置の修正（図表の下部に統一）〔全編〕
- ・「題目塔」についての説明追記〔第2章〕
- ・各種災害ごとの方針「被災時及び被災後の対応」において、実施主体がはっきりするよう主語等を追記修正〔第4章〕

③過誤修正

〔主な修正点〕

- ・名称等の漢字の修正：2箇所（善道寺→善導寺 など）〔第5章 など〕
- ・「過去の主な風水害」発生年月日修正：1箇所（昭和49年7月24日→昭和45年7月24日）〔資料編〕
- ・指定文化財の種別修正（史料→歴史資料、考古資料 など）〔資料編〕
- ・指定文化財の指定年月日修正：2箇所〔資料編〕

④その他

- ・計画文中の「大野市」について「本市」等に記載を修正
- ・各データについては、令和7年4月時点を基準に更新〔全編（※ただし、総合計画の後期基本計画の記載のみ例外）〕

表 23 調査研究・保存・活用に関する方針と措置の一覧 【事業主体】市民：市民、地域住民、事業者／所有者など；所有者、保存団体、管理団体／教育・研究機関：小中高等学校、大学、研究機関／市

基本理念 (将来像)	調査研究・保存 ・活用の課題	方針	方針に対応する措置										関係する 関連文化財群の措置	
			No	事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間(年度)							対応する 方針
文化財を生かした 人づくり・まちづくり	調査研究	・文化財の内容や価値を把握するための調査の推進	1	「文化財カルテ」の作成	文化財の現状把握を図り、保護や保全につなげるため、文化財の状態を記録する「文化財カルテづくり」を進めます。	所有者など 市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	①	
			2	博物館施設における資料の収集・保管	歴史博物館において、希少性の高い文化財や散逸の恐れのある文化財を収集・保管・展示します。	市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	①	<3>-3
			3	郷土資料の購入	郷土に関係する資料を購入し、大野市外への散逸を防止します。	市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	①	
			4	文化財の調査の実施	調査未実施の文化財について、所在及び現状を把握するための調査を実施します。把握調査結果は、詳細調査の要否や優先順位、実施時期や方法についての検討資料とします。	教育・研究機関 市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	①	<1>-1 <2>-4 <3>-2 <4>-1 <4>-2 <5>-1 <6>-1 <7>-3 <7>-4 <8>-3 <9>-3 <10>-4 <11>-8
			5	『奥越史料』の発刊	郷土の歴史や自然などについて執筆された論文をまとめた冊子『奥越史料』を発刊します。	市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8			令和 11		①	
大野市の歴史と伝統を示す文化財を継承しつつ、 人づくり・まちづくりに生かしていくことを目指します。	保存	・文化財保護を担う後継者の減少 ・歴史的建造物などの管理放棄によるき損や滅失 ・地域の防犯・防災対応の弱体化	6	文化財の指定や登録	文化財の調査によって得られた結果に基づいて、価値の再把握や新たな文化財の指定に取り組みます。 あわせて、国の文化財登録原簿への登録の提案を積極的に行い、ボトムアップによる未指定文化財の保護を推進します。	市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	②	
			7	指定文化財の維持管理	指定文化財を良好な状態で管理し、保存を図るための計画づくりや補修、清掃などの維持管理を行います。	所有者など 市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	③	<8>-1 <11>-2
			8	指定文化財の保存修復	指定文化財の保存修理と保存整備を行います。	所有者など 市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	③	<11>-1
			9	市指定文化財「大野市民俗資料館」の管理	明治期に建てられた大野市民俗資料館(市指定)を適正に管理(保存・修理を含む)し、一般公開します。	市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	③	
			10	指定文化財の保存修理に対する支援	指定文化財の修理事業の支援を行います。	所有者など 市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	③	
			11	文化財防火訓練・査察の実施	文化財防火デーに合わせた文化財防火訓練と防火査察を実施します。	所有者など 市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	③	
			12	指定文化財の保護パトロールの実施	指定文化財の状態の把握と破壊の早期発見を目的としたパトロールを実施します。	市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	③	
			13	「大野市地域防災計画」の推進	各種災害に対する日常的予防や被災時の対応、防災体制づくりなど、市民の生命及び文化財を含む財産を守るための事業実施を推進します。	市(他部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	③	
			2	博物館施設における資料の収集・保管	歴史博物館において、希少性の高い文化財や散逸の恐れのある文化財を収集・保管・展示します。	市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	③	<3>-3
			3	郷土資料の購入	郷土に関係する資料を購入し、大野市外への散逸を防止します。	市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	③	
			14	文化財標柱の設置	指定文化財やその他の城跡、古墳などがある場所に文化財の名称や概要を表示した標柱を設置します。	市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	⑤	
			15	「おおの遺産」の認証	「おおの遺産」の候補の調査結果に基づいて、新たな「おおの遺産」の認証に取り組みます。	所有者など 市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	⑥	
16	無形民俗文化財の保存育成に対する支援	大野市内に伝わる語りや太鼓などの無形民俗文化財保存団体の活動を支援します。	所有者など 市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	⑥	<7>-1 <7>-5			
17	生涯学習推進計画の事業の推進	伝統芸能や伝統行事の継続など、地域の課題解決に関する学習を進めます。	市(文化財部局)	令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12	⑧				

表 23 調査研究・保存・活用課題と方針と措置の一覧 【事業主体】市民：市民、地域住民、事業者／所有者など；所有者、保存団体、管理団体／教育・研究機関：小中高등학교、大学、研究機関／市

基本理念 (将来像)	調査研究・保存 ・活用の課題	方針	方針に対応する措置											関係する 関連文化財群の措置
			№	事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間(年度)						対応する 方針	
							令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12		
文化財を生かした 人づくり・まちづくり		③維持管理や修復、所有者の 防災への意識の醸成、 防災プランの作成と被災 時の体制整備	9	市指定文化財「大野市民俗資料館」の管理	明治期に建てられた大野市民俗資料館（市指定）を適正に管理（ <u>保存・修理を含む</u> ）し、一般公開します。	市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	③	
			16	無形民俗文化財の保存育成に対する支援	大野市内に伝わる語りや太鼓などの無形民俗文化財保存団体の活動を支援します。	所有者など市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⑥	
			18	小学生の郷土芸能の体験	小学生を対象に、語りや屋神楽、太鼓など地域に伝わる郷土芸能に親しむ機会を作ります。	教育・研究機関市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	④	<2>-1
			19	子ども向け歴史イベントの実施	史跡めぐりや、古文書体験など歴史イベントを実施します。また郷土の歴史調べなどに協力します。	教育・研究機関市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	④	
			20	文化財の出前授業の実施	小・中学生を対象に、学校を訪問して文化財に関する授業を行ったり、実際の文化財を見ながら解説したりします。	教育・研究機関市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	④	
			21	児童生徒による文化財情報の発信活動の実施	児童・生徒が地域の自然や文化、歴史、偉人、観光資源などについて学習し地域の課題解決などの内容を企画・提案する学習を行います。また学習成果を <u>発信します</u> 。	教育・研究機関市（他部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	④	
			22	文化財情報の発信	文化財のさまざまな情報を、ホームページやパンフレット、冊子などにまとめた情報発信します。	市民所有者など市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⑤	<1>-2 <4>-3 <6>-2 <7>-2 <7>-4 <8>-1 <8>-2 <9>-1 <9>-2 <10>-2 <10>-3
			23	特別展・企画展の開催	歴史博物館において、郷土の歴史や文化財をテーマにした特別展・企画展を開催します。	市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⑤	<1>-2 <4>-3 <6>-2 <7>-2 <8>-2 <9>-1 <10>-2
			24	博物館資料の展示品の解説の充実と体験機会の創出の実施	博物館の展示資料について解説を充実させるとともに、実物に触れたり、使ってみたりなどの体験できる展示を行います。	市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⑤	<3>-4 <8>-2 <9>-1 <10>-1
			25	古文書資料の活用	収集した古文書資料を一般に公開し、市民や学校、研究機関などが活用しやすいようにします。	市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⑤	
大野市の歴史と伝統を示す文化財を継承しつつ、 人づくり・まちづくりに生かしていくことを目指します。	活用	④児童・生徒の郷土愛と文化財愛護意識の醸成 ⑤市民の文化財に対する関心と保護意識の醸成、来訪者が文化財を楽しく知る機会の創出 ⑥無形民俗文化財の保護の推進 ⑦観光と地域づくりに活用するための関係機関との調整、新たな取り組みの検討	26	文化財の一般公開	普段はなかなか見ることができない民間所有の文化財の一般公開を行います。	所有者など市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⑤	
			27	SNS（ソーシャルネットワークサービス）を活用した情報発信	文化財の保護活動や公開、イベントなど、文化財に関するさまざまな取り組みをFacebook やスマートフォンのアプリを活用して発信します。	所有者など市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⑤	
			28	越前大野城の維持管理と活用	大野市のシンボルである越前大野城を適切に維持管理し、越前大野城や歴代城主、大野ゆかりの地などを来訪者に情報発信します。また、スタンラリーや御城印などイベントに対応します。	市（他部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⑦	<5>-2 <5>-3 <5>-4
			29	登録有形文化財の観光活用	平成大野屋本店洋館（国登録）・二階蔵（国登録）・平蔵（国登録）をまちなか観光の拠点として適切に活用します。	所有者など市（他部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⑦	<5>-6
			30	文化財の発信プロモーションの取り組み	文化財の情報をメディアやPR 広告などにより発信する取り組みを行います。	市民所有者など市（他部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⑦	<1>-2 <4>-3 <6>-2 <7>-2 <7>-4 <8>-1 <8>-2 <9>-1 <9>-2 <9>-4 <10>-2
			31	地域資源のブランド化の推進	<u>魅力ある地域資源を活用した商品開発などを支援し、ブランド化を推進します</u> 。	市民所有者など市（他部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⑦	<9>-4
			32	古民家ギャラリーの活用	小コレクター運動などの絵画の展示と企画展を開催します。	所有者など市（他部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⑦	
			33	公共交通の維持とまちづくりへの活用	公共交通機関の利便性を向上させるとともに、利用のきっかけとなるイベントを実施することで、利用促進を図ります。	市民市（他部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎	⑦	

表 37 関連文化財群の概要一覧

【事業主体】市民：市民、地域住民、事業者／所有者など：所有者、保存団体、管理団体／教育・研究機関：小中高専学校、大学、研究機関／市

基本理念 (将来像)	該当する 関連文化財群	No.	事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間(年度)					
						令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12
文化財を生かした 人づくり・まちづくり	<1> 原始・古代の人々の営み	1	遺跡や出土遺物の調査の実施	遺跡の有無を確認するとともに、開発行為の影響が遺跡に及ぶ場合は、発掘調査を実施します。また出土遺物は博物館で活用できるよう調査研究を進めます。	市（文化財部局）	◎	○	○	○	○	○
		2	遺跡調査結果の周知	遺跡地図を公開し、埋蔵文化財の場所や時代、遺跡の内容、過去の発掘の有無などを周知します。	市（文化財部局）	○	○	○	○	○	○
	<2> 町や村に暮らす人々の交流	1	市民が民俗芸能に参加できる場所づくり	おおの城まつりを通して、民俗芸能の継承を兼ねたイベントと踊り教室を実施します。	所有者など 市（他部局）	○	○	○	○	○	○
		2	民俗芸能を発表する機会の創出	大野市総合文化祭の開催などを通して、民俗芸能を発表する機会を設けます。	所有者など 市（文化財部局） 市（他部局）	○	○	○	○	○	○
		3	まちなかのにぎわい創出への支援	まちなかで行うイベントを支援するとともに、魅力的な店舗などを創出するため、関係機関・団体などと連携し、来訪者数の増加と、稼ぐ力の向上を図ります。	市民 所有者など 市（他部局）	○	◎	◎	◎	○	○
		4	歴史の道調査の実施	美濃街道をはじめとする、古来から近代まで往来のあった主要なルートについて調査します。	市（文化財部局）	○	○	○	○	○	○
	<3> 華開く「進取の気象」	1	国登録有形文化財「旧内山家住宅」の一般公開	幕末大野藩の藩政改革に尽力した家老の内山良休ゆかりの国登録有形文化財「旧内山家住宅」を一般公開します。	市（他部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2	大野藩に関する資料調査の実施	幕末大野藩が全国に先駆けて取り組んだ洋学について、関連研究機関との交流などにより、全国の蘭学史との比較研究を行います。	市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		3	博物館施設における資料の収集・保管（幕末資料）	歴史博物館において、幕末の藩政改革に関連する資料を収集・保管・展示します。	市（文化財部局）	◎	○	○	○	○	○
		4	博物館資料の展示品の解説（藩政改革）	歴史博物館の展示資料について解説を行い、幕末期の大野藩の活躍を周知します。	市（文化財部局）	◎	○	○	○	○	○
	<4> 戦乱の時代と大野盆地の城郭群	1	城郭に関する調査の実施	全国の自治体や団体と協力し、近世城郭「大野城」の城郭や築城者・金森長近に関する調査や交流を行います。	市（文化財部局）	◎	○	○	○	○	○
		2	城館跡の調査の実施	大野市内に残る、大野城築城前の山城や館跡、それぞれの縄張り、築城・在城者などについての調査を行います。	市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		3	城郭に関する調査結果の周知	城跡の調査結果をホームページやパンフレットなどで広く周知します。	市民 所有者など 市（文化財部局）	○	◎	◎	◎	◎	◎
大野市の歴史と伝統を示す文化財を継承しつつ、 人づくり・まちづくりに生かしていくことを目指します。	<5> 大野城の築城と城下町の形成、その後の発展	1	県指定史跡「越前大野城跡」の調査と保存整備	県指定史跡「越前大野城跡」の石垣と遺構の調査を行い、傷んでいる箇所については保存整備を行います。	市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2	越前大野城の維持管理と活用	大野市のシンボルである越前大野城を適切に維持管理し、越前大野城や歴代城主、大野ゆかりの地などを来訪者に情報発信します。また、スタンプラリーや御城印などイベントに対応します。	所有者など 市（他部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		3	越前大野城の情報発信	天空の城として知られる越前大野城を観光コンテンツとして活用するため、城の情報や城主とのゆかりの地などを来訪者に情報発信します。	市民 市（他部局）	○	○	○	○	○	○
		4	歴史文化施設の周遊イベントの開催	歴史博物館や民俗資料館、武家屋敷旧内山家、武家屋敷旧田村家、本願清水イトヨの里、OOCOMO アートプレイスなど、大野市内の文化施設の周遊促進を図るための事業を実施します。	市（文化財部局） 市（他部局）	○	○	○	○	○	○
		5	市指定文化財「田村又左衛門家屋敷」の一般公開	大野藩の上級武士であった市指定文化財「田村又左衛門家屋敷」を一般公開します。	市（他部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		6	まちなか観光施設への誘客	あらゆる媒体を活用した情報発信を行い、御清水や新堀清水などのまちなか観光施設への誘客を行います。	市民 所有者など 市（他部局）	○	○	○	○	○	○
		7	七間朝市への誘客	「おおの遺産」である七間朝市の魅力向上を図り、朝市への誘客を行います。	市民 所有者など 市（他部局）	○	○	○	○	○	○
	<6> 地域に息づく多様な信仰形態	1	仏像・神像調査の実施	大野市内の仏像や神像、信仰の対象となった遺跡や建築物などを対象に調査を行います。	市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2	仏像・神像調査結果の周知	調査結果公開・周知に向けて進めます。	所有者など 市（文化財部局）	○	◎	◎	◎	◎	◎

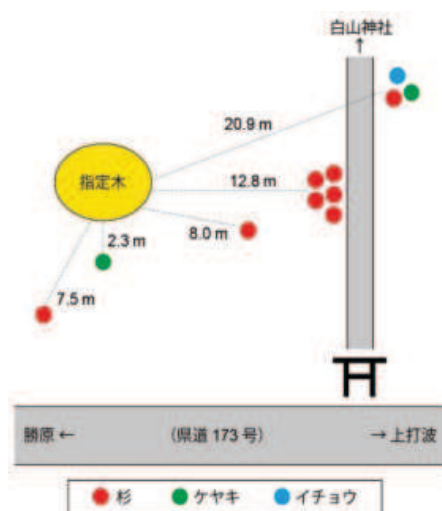
表 37 関連文化財群の概要一覧

【事業主体】市民：市民、地域住民、事業者／所有者など：所有者、保存団体、管理団体／教育・研究機関：小中高等学校、大学、研究機関／市

基本理念 (将来像)	該当する 関連文化財群	No.	事業名	事業概要・業務内容	事業主体	事業期間(年度)					
						令和 4～7	令和 8	令和 9	令和 10	令和 11	令和 12
文化財を生かした 人づくり・まちづくり	⑦ 受け継がれる芸能	1	「おおの遺産」の伝承活動への支援	「おおの遺産」認証団体の保存・継承に向けた活動に対して支援します。	所有者など 市（文化財部局）	○	○	○	○	○	○
		2	「おおの遺産」の情報発信	認証を受けた「おおの遺産」をインターネットを活用して広報します。	所有者など 市（文化財部局）	○	○	○	○	○	○
		3	「おおの遺産」候補の調査の実施	結の故郷伝統文化伝承条例に基づく「おおの遺産」の認証候補となる伝統芸能や年中行事、風習・生業など伝統文化について調査を行います。	所有者など 市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		4	無形民俗文化財の記録保存	大野市内に伝わる踊りや歌、祭礼、神事などを録音・録画したものをアーカイブ化し、公開します。	市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		5	無形民俗文化財関係団体の交流会の実施	無形民俗文化財の保存団体の代表者による、今後の保存・継承に向けた意見交換会を開催します。	市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
	⑧ 自然の恵みと暮らし	1	国指定重要文化財「旧橋本家住宅」の維持管理	国指定重要文化財「旧橋本家住宅」を良好な状態で保存します。茅葺き屋根と建物の梁や柱を湿気や虫害などから守るため、年間を通した囲炉裏への火入れや、災害時の対応、一般公開などを行います。	市（文化財部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
		2	暮らしに関する資料の展示	大野市民俗資料館などでは、まちや村での暮らしに関係する道具などの有形民俗文化財を展示します。	市（文化財部局）	◎	○	○	○	○	○
		3	民俗資料の調査の実施	過疎化が進む地域の暮らしや習わし、既に消滅してしまった生業などについて、聞き取りや文献などでの記録保存を行います。	市（文化財部局）	○	○	○	○	○	○
	⑨ 食の営み	1	食に関連した道具などの展示	大野市民俗資料館などでは、食に関係する道具などの有形民俗文化財を展示します。	市（文化財部局）	○	○	○	○	○	○
		2	伝統食を体験できるイベントの実施	地元食材の提供や食文化の普及と継承を行うイベントを実施します。	市民 所有者など 市（他部局）	○	○	○	○	○	○
		3	伝統食の調査の実施	伝統食を対象に、材料や作り方、保存方法などについて調査し、発信します。	市（文化財部局）	◎	○	○	○	○	○
		4	食文化のブランド化と地域でのふるまい	食文化のブランド化を図り、観光資源として提供をできる体制を充実させます。	市民 市（他部局）	◎	◎	◎	◎	◎	◎
大野市の歴史と伝統を示す文化財を継承しつつ、 人づくり・まちづくりに生かしていくことを目指します。	⑩ 化石が物語る大地の歴史	1	化石の情報発信拠点の整備	化石の調査成果の情報発信を行う拠点として和泉郷土資料館を整備します。	市（文化財部局）	◎	○	○	○	○	○
		2	地層と化石の調査研究	地層と化石について、調査研究を進めます。調査に当たっては福井県立恐竜博物館をはじめ関係機関と共同で進めます。	教育・研究機関 市（文化財部局）	○	○	○	○	○	○
		3	化石発掘体験センターの活用	地元で産出した岩石を使った化石の発掘体験ができる施設「化石発掘体験センターHORIUSIA！」の活用を図ります。	市（他部局）	○	○	○	○	○	○
		4	地層と化石の調査成果の発表	地層と化石の調査研究成果を企画展や講座などで発表します。また化石や地層の見学会を実施します。	教育・研究機関 市（文化財部局）	○	○	○	○	○	○
		5	地層や化石の保護パトロールの実施	化石の無断採取の防止を目的とした化石保護監視員によるパトロールを実施します。	市民 市（文化財部局）	○	○	○	○	○	○
	⑪ 山と盆地の豊かな自然環境	1	国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の環境維持	国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの生息環境の整備と学習施設の展示リニューアルを行い、それらの環境を維持します。	市（他部局）	◎	○	○	○	○	○
		2	国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの保護活動の実施	国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」におけるイトヨの生息環境の保護活動を小・中学生の協力を得て実施することで、文化財を身近に感じ、保護の必要性を知る機会とします。	市民 教育・研究機関 市（他部局）	○	○	○	○	○	○
		3	本願清水イトヨの里の管理運営	国指定天然記念物「本願清水イトヨ生息地」の学習施設である本願清水イトヨの里において資料の展示や企画展を開催します。	市（他部局）	○	○	○	○	○	○
		4	星空保護区の認定に向けた取り組み	星空保護区の認定に向けた取り組みを進めます。	市民 教育・研究機関 市（他部局）	◎	＝	＝	＝	＝	＝
		5	日本一の星空情報の発信	星空保護区の認定を受け、六島師高原の日本一の星空を観光資源として活用します。	市民 市（他部局）	◎	○	○	○	○	○
		6	自然や産物を体験できるイベントの実施	和泉地区の自然や文化、農林産物などを体験できるイベントを実施します。	市民 市（他部局）	○	○	○	○	○	○
		7	自然体験できる施設の整備	自然を体験できる仏御前の滝・麻那姫湖青少年旅行村などの施設・麻那姫像を維持管理します。	市（他部局）	○	○	○	○	○	○
		8	自然災害の記録調査の実施	過去に起きた自然災害に関する記録とそれに関係する言い伝えや備えなどについて調査します。	市（文化財部局）	○	○	○	○	○	○

【県指定天然記念物「白山神社のカツラ」環境整備事業】

- 指定木周辺の高木によってできた日陰で光不足が起きており、樹勢の衰退が懸念される。東側に長く張っている枝の光不足を解消することを目的に、日陰を発生させている高木を伐採し、周辺木の整備を行う。



実施主体：下打波区

事業費：879,300円

補助額：県 302,000円（※当初計画額604,300円の1/2）

※福井県指定文化財保存修理等補助金

市 151,000円（※当初計画額604,300円の1/4）

※大野市指定文化財保存修理等補助金

■事業については、令和7年10月25日に施工済

※裏面、写真（着工前、着工後）参照

着工前



完了後



令和 7 年度 化石の取り組み

1 中部縦貫自動車道大野油坂道路整備工事

(1) 箱ヶ瀬東高架橋工事



調査日：8月26日、9月12日
成 果：シダ類の葉化石を採取。

(2) 番屋橋工事



調査日：8月26日、9月5日
成 果：シダ類、ソテツ類、ベネチテス類の葉化石を採取。

2 福井県・大野市共同調査



フィールド調査（伊月化石壁）



小割り調査

内容	実施日	場所
フィールド調査	5月23日、7月18日、 10月29日	下打波
	10月14日	上打波
集中発掘調査	9月3日～9月6日(4日間)	下打波、伊月化石壁、番屋橋工事現場、市化石発掘体験センター

3 化石調査ボランティア「大野化石調査隊」



入隊希望者向け説明会



発掘調査

内容	実施日	参加者数
入隊希望者向け説明会	4月12日	18人
第1回 発掘調査	5月24日	20人
第2回 発掘調査	6月21日	20人
第3回 発掘調査	7月26日	22人
第4回 発掘調査	8月16日	17人
第5回 発掘調査	9月20日	21人
第6回 発掘調査	10月18日	21人

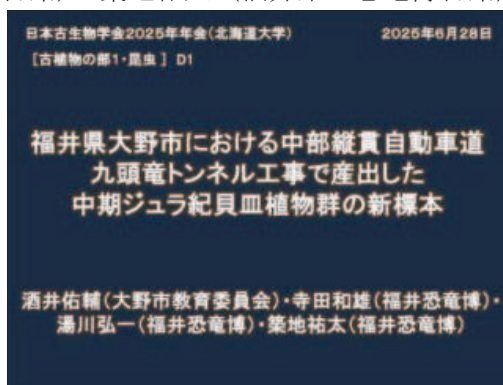
4 学会発表

- (1) 福井県大野市における中部縦貫自動車道九頭竜トンネル工事で産出した中期ジュラ紀貝皿植物群の新標本〔口頭発表〕

学 会 名：日本古生物学会2025年年会（北海道大学）

開催期間：令和7年6月21日（金）～6月23日（日）

発 表 者：酒井佑輔（大野市教育委員会）・寺田和雄（福井県立恐竜博物館）・湯川弘一（福井県立恐竜博物館）・築地祐太（福井県立恐竜博物館）



- (2) 福井県大野市の下部白亜系伊月層から産した新たなトカゲ類化石 [ポスター発表]
 学 会 名：日本古生物学会2025年年会（北海道大学）
 開催期間：令和7年6月21日（金）～6月23日（日）
 発 表 者：築地祐太（福井県立恐竜博物館）・柴田正輝（福井県大学恐竜学部）・
 宮田和周（福井県立恐竜博物館）・酒井佑輔（大野市教育委員会）
- (3) 福井県大野市上半原地域における中部縦貫自動車道上半原トンネル工事で産出した植物化石 [ポスター発表]
 学 会 名：日本古生物学会第175回例会（鹿児島県薩摩川内市）
 開催期間：令和7年12月5日（金）～12月7日（日）
 発 表 者：酒井佑輔（大野市教育委員会）・湯川弘一（福井県立恐竜博物館）・坂
 本拓海（大野市化石発掘体験センター）・築地祐太（福井県立恐竜博物館）
- (4) 福井県大野市の下部白亜系手取層群伊月層産シナミア属魚類 [口頭発表]
 学 会 名：日本古生物学会第175回例会（鹿児島県薩摩川内市）
 開催期間：令和7年12月5日（金）～12月7日（日）
 発 表 者：簗本美孝（北九州市立自然史・歴史博物館）・酒井佑輔（大野市教育委員会）・合田隆久（愛知県江南市）
- (5) 福井県大野市に分布する下部白亜系手取層群伊月層から産出した小型鳥盤類恐竜の
 大腿骨 [ポスター発表]
 学 会 名：日本古生物学会第175回例会（鹿児島県薩摩川内市）
 開催期間：令和7年12月5日（金）～12月7日（日）
 発 表 者：大橋智之（北九州市立自然史・歴史博物館）・合田隆久（愛知県江南市）・
酒井佑輔（大野市教育委員会）

5 展示

- (1) 令和7年度くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ企画展「九頭竜の手取植物群」
 開催期間：7月19日（土）～11月3日（月・祝）

休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日

内 容：前期白亜紀の地層である手取層群からは、恐竜などの動物化石だけではなく、多数の植物化石が発見されている。植物化石を詳しく調べることで、当時の環境がどのように移り変わっていったのか分かる。本企画展では、大野市九頭竜エリアにおける手取層群産植物化石の研究史、最新の研究成果について紹介する。



観 覧 料：通常入館料 [大人：400円、小人（中学生以下）：無料]

展示資料：林谷の手取層群産出の脊椎動物、貝類、植物化石

田茂谷の手取層群産出の植物化石

協 力：福井県立恐竜博物館

入館者数：1,850人（大人 1,110人、小人 740人）

(2) くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ期間限定展示「日本最古級トカゲ類化石」

開催機関：8月5日（火）～11月3日（月・祝）

休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日

内 容：大野市の荒島岳東方の手取層群伊月層（約1億2900万年前）から新たに発見された日本最古級となるトカゲ類化石(左上顎骨)を展示する。

〔実物化石展示〕8月5日（火）～9月23日（火）

〔複製化石展示〕9月25日（木）～11月3日（月）

観 覧 料：通常入館料〔大人：400円、中学生以下：無料〕

協 力：福井県立恐竜博物館

入館者数：1,476人（大人 885人、小人 591人）



令和 7 年度（4 月～11 月）主な企画展等について

【歴史博物館】

(1) 郷土学習（歴史・化石）の出前授業

開催期間：通年

内 容：歴史や化石への理解を通して郷土への誇りと愛着をはかるため、学芸員を講師として派遣して小中学生を対象とした出前授業を実施する。

(2) 伊藤慎蔵生誕 200 年記念企画展「蘭学の牽引者 伊藤慎蔵」

開催期間：5 月 31 日（土）～6 月 22 日（日）

内 容：令和 7 年は伊藤慎蔵が生誕して 200 年の節目に当たる。これに合わせ、適塾塾頭から大野藩洋学館の教授となった伊藤慎蔵に関する企画展を開催することで、大野藩の蘭学の取り組みを紹介する。

観 覧 料：通常入館料 [大人：300 円、中学生以下：無料]

入館者数：311 人（大人 197 人、小人 114 人）

記念行事：ギャラリートーク

日 時：6 月 15 日（日）午前 10 時 30 分～

参加費：無料（ただし入館料は必要）

参加者：15 人

協 力：大阪大学適塾記念センター

担 当：田中



(3) ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン合同出張ミュージアム「お城」

開催期間：8 月 1 日（金）～8 月 11 日（祝日・月）

内 容：嶺北地方（11 市町）の特徴的な「城」をパネルで紹介する巡回展示の受け入れ。

観 覧 料：通常入館料 [大人：400 円、中学生以下：無料]

入館者数：120 人（大人 78 人、小人 42 人）

担 当：田中

(4) 文化施設共通テーマ展「ヒーロー展」

開催期間：9 月 6 日（土）～10 月 5 日（日）

内 容：大野市内の文化施設で、「ヒーロー」をテーマにした展示を通して、地域の歴史や文化、そして大野にゆかりのある「ヒーロー」を再発見する。

ヒーロー：歴史博物館「土井利忠」

民俗資料館「火消し組」

観 覧 料：通常入館料 [大人：400 円、中学生以下：無料]

入館者数：歴史博物館 227 人（大人 155 人、小人 72 人）

民俗資料館 232 人（大人 166 人、小人 66 人）

担 当：田中



(5) 図書館まつり共催イベント「パネルを探して答えよう！ 2025 年はなんの年？」

開催日時：10 月 18 日（土）

内 容：館内に設置したパネルを探すゲーム。太郎兵衛火事に関する問題を出题。

参 加 料：無料

参 加 者：58 人（大人 7 人、小人 51 人）

担 当：不二山

(6) 市民所有の文化財展「藩主土井家菩提寺 善導寺の寺宝」

開催期間：11月1日（土）～11月30日（日）

内 容：普段、非公開となっている市民が所有する文化財を特別に公開する。今回は、善導寺が所有する寺宝を展示。

観 覧 料：通常入館料 [大人：400円、中学生以下：無料]

入館者数：388人（大人242人、小人146人）

関連行事：善導寺見学会

開催日時：11月22日（土） 午後1時30分～

参 加 費：無料

解 説：田中

参 加 者：57人

担 当：田中



【民俗資料館】

(1) 太郎兵衛火事250年記念企画展「大野と火事」

開催期間：6月14日（土）～11月16日（日）

内 容：安永4年（1775）の太郎兵衛火事250年を記念し、大野で起きた火事に関する歴史やそれに伴う町の変化、大野において使われた消防の道具を紹介する。

観 覧 料：通常入館料 [大人：400円、中学生以下：無料]

入館者数：1,229人（大人827人、小人402人）

関連行事：①大野市博物館講座

開催日時：4月12日（土）午後1時30分～午後3時

タイトル：大野と火事

講 師：田中

参 加 者：13人

②大野市博物館講座（史跡めぐり）

開催日時：6月14日（土）午後1時30分～午後4時

タイトル：防火の史跡

講 師：田中

参 加 費：600円

参 加 者：10人

担 当：不二山



(2) 昔あそび大会

開催日時：7月27日（日） 午後1時～

内 容：こまやけん玉などの昭和の遊びを体験することにより、昔の暮らしへの関心、民俗資料館への親しみをもってもらうことを目的とする。

参 加 料：小人無料（通常通り） 大人は付き添いのみ無料

参 加 者：小人4人、大人3人

担 当：不二山



(3) ワークショップ「わらじのストラップづくり」

開催日時：8月9日（土） 午後1時30分～午後3時45分

内 容：荷造り紐を縄に見立て、6cm程度の小物「わらじストラップ」を作る。

参 加 料：無料（別途、入館料は必要）

参 加 者：5人

担 当：田中



(4) 文化財を楽しむおはなし会②「民具に親しむ物語」

開催日時：10月26日（日）

内 容：民具が活躍する物語の語り聞かせ。物語に登場する民具の紹介。

参 加 料：無料

参 加 者：10人（小人1人、大人9人）

担 当：不二山



(5) ワークショップ「和菓子の木型で粘土細工づくり」

開催日時：11月3日（月・祝日）

内 容：和菓子の木型（内側）に紙粘土を貼り付け、10cm程度の小物を作る。

参 加 料：無料（別途、入館料は必要）

参 加 者：5人

担 当：田中

【その他】

(1) くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ企画展「九頭竜の手取植物群」

開催期間：7月19日（土）～11月3日（月・祝）

休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日

内 容：前期白亜紀の地層である手取層群からは、恐竜などの動物化石だけではなく、多数の植物化石が発見されている。植物化石を詳しく調べることで、当時の環境がどのように移り変わっていったのか分かる。本企画展では、大野市九頭竜エリアにおける手取層群産植物化石の研究史、最新の研究成果について紹介する。

観 覧 料：通常入館料 [大人：400円、中学生以下：無料]

入館者数：1,850人（大人 1,110人、小人 740人）

協 力：福井県立恐竜博物館

関連行事：学芸員によるギャラリートーク

開催日時：7月26日（土）、8月16日（土） 午前11時～正午

参 加 費：無料（ただし入館料は必要）

参 加 者：32人

担 当：酒井



(2) くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ期間限定展示「日本最古級トカゲ類化石」

開催機関：8月5日（火）～11月3日（月・祝）

休館日：月曜（祝日の場合はその翌日）、祝日の翌日

内 容：大野市の荒島岳東方の手取層群伊月層（約1億2900万年前）から新たに発見された日本最古級となるトカゲ類化石（左上顎骨）を展示する。

〔実物化石展示〕8月5日（火）～9月23日（火）

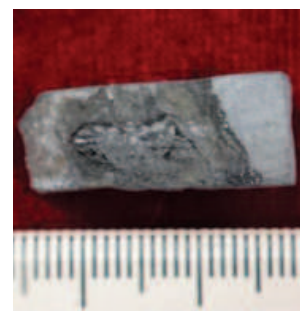
〔複製化石展示〕9月25日（木）～11月3日（月）

観 覧 料：通常入館料〔大人：400円、中学生以下：無料〕

入館者数：1,476人（大人885人、小人591人）

協 力：福井県立恐竜博物館

担 当：酒井



(3) 文化財を楽しむおはなし会①いろりで楽しむ日本の昔話

開催日時：9月28日（日）

会 場：旧橋本家住宅

内 容：日本の昔話の語り聞かせ。

参 加 料：無料

参 加 者：13人（小人3人、大人10人）

担 当：不二山



【博物館講座】

開催日	タイトル	会場	講師	参加者数
4月12日（土）	太郎兵衛火事250年記念 大野と火事	学びの里「めいりん」	田中	13人
6月14日（土）	太郎兵衛火事250年記念 史跡めぐり「防火の史跡」	市街地一円	田中	10人
9月27日（土）	史跡めぐり「大野のヒーロー」	市街地一円	田中	13人
10月18日（土）	「手取植物群から前期白亜紀の 世界を探る」	くずりゅう化石 ラボ ガ・オーノ	酒井	12人
11月29日（土）	「大野の仏像 ―調査によりわ かってきたこと―」	学びの里「めいりん」	不二山	15人

【講師派遣】

田中

開催日	主催	内容	参加者数
5月15日（木）	鷹巣中学校（校外学習）	大野市の伝統芸能について	10人
6月15日（日）	上据区	おおの遺産「上据区の田休み」	40人
7月15日（火）	大野地区ろうきん友の会 （総会）	蘭学の牽引者 伊藤慎蔵	14人
8月 8日（金）	生涯学習・文化財保護課（生 涯学習グループ）	石垣（大野城の野面積み）を作っ てみよう	36人
8月 8日（金）	公立保育園研究会（研修会）	日本の行事の由来を学ぶ	24人
9月17日（水）	春江中学校（校外学習）	大野市の伝統文化	44人

9月19日（金）	ふじサロン	下庄地区の「おおの遺産」	12人
9月25日（木）	大野市役所総務課（新採用職員入庁6カ月後研修会）	金森長近のまちづくり、幕末の藩政改革、武家屋敷旧内山家の見学対応	9人
10月1日（水）	大野市老人クラブ連合会	「大野藩の疫病対策」	20人
10月22日（水）	大野市老人クラブ連合会	バス研修「大野市の指定文化財」	20人

酒井

開催日	主催	内容	参加者数
5月17日（土）	福井県立大学恐竜学部	専門基礎科目「地球科学フィールド実習Ⅰ」における化石等の解説	43人
6月7日（土） 6月8日（日）	福井県名古屋事務所	イベント「博物マニア」福井県ブースにおける化石等の解説	—
7月12日（土）	福井市中央公民館	ふくい中央みらいカレッジ 福井学基礎講座「恐竜化石から見る恐竜王国福井の物語」	38人
8月2日（土） 8月3日（日）	富山フューチャー開発株式会社	ファボーレ恐竜博2025 化石発掘体験	—
8月6日（水）	坂井地区小学校教育研究会 理科部会	ガ・オーノの展示解説、伊月化石壁の現地案内・解説	26人
11月29日（土） 11月30日（日）	福井県交流文化部 誘客推進課	恐竜王国福井県PRキャンペーン in 大宮駅	—

不二山

開催日	主催	内容	参加者数
8月29日（金）	生涯学習・文化財保護課（生涯学習グループ）	民俗資料館見学	34人

【郷土学習（歴史・化石）の出前授業】

実施日	種別	学校・学年・人数	授業内容	担当
5月9日（木）	施設見学	小山小学校 3年生 5人	民俗資料館、越前大野城、旧内山家	田中
5月16日（金）	施設見学	富田小学校 3年生 8人	民俗資料館	不二山
7月2日（水）	施設見学	下庄小学校 3年生 40人	越前大野城	田中
10月22日（水）	施設見学	有終東小学校 6年生 41人	くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ	酒井
10月22日（水）	施設見学	小山小学校 4年生 6人	歴史博物館	不二山
10月28日（火）	施設見学	下庄小学校 2年生 54人	くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ	酒井
11月7日（金）	施設見学	阪谷小学校 4年生 4人	歴史博物館、旧内山家	田中
11月10日（月）	施設見学	阪谷小学校 4年生 4人	越前大野城	田中
11月19日（水）	施設見学	下庄小学校 4年生 55人	歴史博物館	田中

【マスメディアへの出演・執筆】（取材対応は除く）

放送・掲載日	媒体	内容	範囲	担当
7月10日（木）	福井テレビ	「ニュースイト！」くずりゅう化石ラボ ガ・オーノ紹介	福井県内	酒井
11月 7日（金）	N H K 福井放送局	「ニュースザウルスふくい」恐竜関連コーナー「恐竜学（まなぶ）」恐竜化石の”空白地帯”を追え！	福井県内	酒井

【調査・研究の受入れ】

実施日	参加者	内容	担当
7月23日（水）	新潟大学	九頭竜層群貝皿層の調査	酒井
7月29日（火）	東京藝術大学	文部科学省科学研究費補助金基盤研究（B）（一般）「民家の架構形式に基づいた建築空間の評価に関する研究」	不二山
8月 1日（金）	石川県金沢城調査研究所	かご類の調査研究	不二山
8月29日（金）	跡見学園女子大学	文部科学省科学研究費補助金基盤研究（B）（一般）「日本中世・近世における若狭湾沿岸海村・山村・都市間の生業交流・交易に関する総合的研究」	不二山
10月19日（日）	金沢大学	下打波に分布する手取層群の調査	酒井

【寄贈・寄託の受入れ】

受領日	種別	内容
4月 8日（火）	寄贈（歴史）	戦争資料（衣料切符、勝札等）
7月24日（木）	寄贈（歴史）	東勝原白山神社寛政七年銘木札